

ブラジルゲートボール連合

# 二十年のあゆみ



1982 - 2002

ブラジルゲートボール連合創立 20 周年記念

裏表紙



ブラジルゲートボール連合

# 二十年のあゆみ



ブラジルゲートボール連合ゲートボールスタジアム全景

ブラジルゲートボール連合創立 20 周年記念



埋め立てた土を止める下工事



第1期埋め立て工事終了（約2500台。埋め立てた高さは3m～4m）

サッカー場の隣の土止め工事は「ガビオン方式」が採用された。



第2期工事の埋め立て予定地（前方の壁の高さまで埋め立てた）

予定の埋土が終わり諸設備建設が始められた。坂の芝植は終了。

整地が終わったコート設定予定地（16コート）

## ゲートボールスタジオ造成の経過と落成記念大会



ゲートボールスタジオ建設予定地全景（1996年）



第1期埋め立てて工事を視察する建設委員



第1期埋め立てて工事終了（サッカー場との境界）



隣接の市営サッカー場より見たゲートボールコート。サッカー場の壁の上1mまで埋めた。

埋め立てと同時に用具室、便所等の設備の建築が始められた。





記念式典：市警音楽隊の吹奏で国旗掲揚



校内義塾世界ゲートボール連合会長がブラジルのゲートボールスタジアム落成の快挙を祝って寄贈された自身揮毫の楹額「球音門過輝」



ゲートボールの心を表した「健康、融和、深い絆」と書かれたスタジアム落成記念碑除幕：左から水本サンパウロ新聞社社長、下本サンパウロ州議員、今井領事、アルナルド連邦下院議員、右手前より森連合名譽会長、本係会長、クラウジオ場長、高橋聖市長補佐官



日本移民90周年記念、ゲートボールの日慶祝、ゲートボールスタジアム落成記念第8回全伯選抜ゲートボール選手権大会 — 優勝：パラグアス パウリスチームと連合役員



第1観覧席(250席)、競技、審判席(観覧席の下)



ゲートボールスタジアム造成を完了した日、記念碑を囲んで  
左より松尾、宮川、平田、クラウジオスポーツセンター場長、本係、大久保、貝原、北国吉の建設委員



本係連合会長と主賓によりスタジアムのテープカット

祝辞



本郷利氏  
ブラジルゲートボール連合会長



ナージャ カンペオン女史  
サンパウロスポーツ局長



小林パウロ氏  
ブラジル連邦議員



三寺邦定氏  
北海道専室町助役



岩崎秀雄氏  
ブラジル日本文化協会会長

記念表彰



森豊氏(右)  
功労者表彰



日下野良武氏(右)  
功労者表彰

ブラジルGB連合創立20周年記念  
2002年国際親善ゲートボール大会 前夜祭

7月12日 於: パネスバ・スポーツクラブ

式典



本郷利GB連合会長挨拶



司会 小賀誠二連合副会長



来賓

余興



ローザ デ オーロのサンパショウ



サンビスタは客席に下りて一同と



沖縄舞踊：上原節子、伊豆妹文



日本舞踊：花柳龍伯、花柳龍逸、花柳龍梅の師匠と門下生

乾杯



記念ケーキ中にファッカを入れる  
左より遠藤常務、ナジアスポーツ局長、本藤会長



乾杯



入場行進



アルゼンチンチームの入場

### 開会式



副会宣言をする平田  
ニコロウ実行委員長



国旗掲揚



### 祝辞



(左) 本郷利連合会長  
(右) 池田敏雄サンパ  
ウロ主席領事



## 記念国際大会

7月13日/14日 於：ブラジルGB連合スタジアム

### 準備



### 歓迎

パロンルーレストラン  
にて歓迎パーティでの  
参加国代表一同



### 入場

80歳以上の大会参加選  
手高齢者を本館前に招  
請、選手入場を待つ本  
館前



外国参加  
チーム



大会審判統括の  
今村喜三人審判長



参加国チーム代表：左より三寺芽室町助役、田代ウルグワイ会長、中曾根アルゼンチン代表、黒部パラグワイ会長、玉城ペルー会長、遠藤世界G8連合常務、本藤ブラジル会長。



日本芽室町チーム



パラグワイ国チーム



ウルグワイ国チーム



アルゼンチン国チーム



ペルー国チーム



大会運営の要員を招いた左より大久保金事担当婦人部長、奥村副部長、森脇副部長、田嶋副部長、松岡副部長、平田実行委員長



アルナルド ファリア デ セー連邦議員



遠藤容弘世界G8連合常務



羽藤ジョージ サンパウロ市会議員



来賓

高齢者賞



始球式

表彰



大会競技総括  
田谷輝生競技委員長



若壮年組 (69 才以下) 優勝：ゴイアニア A チーム



若壮年組 (69 歳以下) 準優勝：日本カントリーチーム



高齢者組 (70 歳以上) 優勝：アクレッキ チーム



高齢者組 (70 歳以上)  
準優勝：カロン協友 B チーム



大会が終わってホット  
一息ついた大会役員一  
同

大会風景



大会会場整備の重責を兼じた  
宮川善広会場準備委員長



会場全席：ゲートボールファン

観衆



松尾末幸総務委員長

## 目次

- ブラジルゲートボール連合ゲートボールスタジアム全景  
挨拶 発刊にあたって……………  
ゲートボールスタジアム造成経過と落成記念大会画報  
ブラジルゲートボール連合創立二〇周年記念祭画報  
祝辞  
池田維在ブラジル日本国大使  
桜内義雄世界ゲートボール連合会長  
赤阪清隆在サンパウロ日本国総領事  
岩崎秀雄ブラジル日本文化協会会長  
中沢宏一ブラジル都道府県人会連合会会長

## 第一編 歴史

- 第一章 ゲートボール発祥からのみちのり……………  
一、北の大地で……………  
二、ゲートボール人生……………  
三、ゲートボール生みの母 鈴木寿美さんとブラジル……………  
第二章 ブラジルゲートボール連合二〇年の歩み……………  
第三章 ブラジルゲートボール連合全伯支部の歩み……………  
一、サンパウロ支部……………  
カピタル支部長挨拶、サンパウロ支部規約、ピラ ソーニア、タボン、ピラ ジュサラ、ラツパ  
カーザ ベルデ、ボンレチーロ、ブタンタン、サンパウロゲートボール愛好会について

二―ABC支部……

ABC支部のあゆみ、デイゴ、ジアデーマ、マウア、ミズホ、バウリセイア、ベドレーラ、ルージラーモス、サントアンドレ、サントス、タボン、ウニオン旭、リベロン、ビーレス

三―聖東支部……

聖東地区と私、イタインパウリスタ、イタケーラ、サンミゲールパウリスタ、九十九会、ゲートボールに想う

四―セントラル支部……

セントラル支部役員、アケボノ、福博、イタベチ、ピラ、モラエス、モジ、ピンドラマ、スザノ、ブラジルのゲートボールはスザノ福博から、フェラーズ、ヴァスコンセーラのゲートボール

五―スドエステ支部……

スドエステ支部概要、アバレー、ポツカツ、カウカイア、エンブー、グアピアラ、イビウーナの概略、イビウーナ、イタベチニガ、イタベーバ、イタボランガ、マイリンケ、ビエダーデ、ピラルド、スール、レジストロ、サンミゲール、アルカンジョ、ソロカバ、タビライ

六―汎バライバ支部……

汎バライバ支部の概要、カサパーバ、ビンダモンニャガーバ、サン、ジョゼードス、カンボス、タウパチ

七―聖北支部……

聖北地区ゲートボール協会、インダイアツーパー、イツー

八―フェルナンジアス支部……

フェルナンジアス支部の概要、ブラガンサ、スールブラジル、スールミナス

九―ノロエステ支部……

アラサツーパー、ゼツツリーナ、プロミツソン、ホルモーザ、

一〇―ソロカバナ支部……

汎ソロカバナ支部のあゆみ、汎ソロカバナゲートボール史概略、アルバロ、マツシヤード、マルチノボリス、マルチノボリスゲートボール史概略、オリシニョス、バラグアスピーパウリスタ、

ピラポジニョ、プレシテンテ、フルテンテ、プレシテンテ、ウエンセスラウ、ランシヤリア、隨想

一〇一 汎パウリスタ支部

汎パウリスタゲートボール連盟発起よりの概要、イヌピア、イラブル、バカエンブ、パラブアン、ボンベイア、リノボリス

一〇二 聖州東北支部

聖州東北

一〇三 アルタ アララクワラ支部

アルタアラクワラ、ジャーレス、バルメーラ、ド、オエステ、サン、ジョゼー、ド、リオプレット、ゲートボール部を任ざれて、サンタフェ、ド、スール、ウラニア、ボツボランガ

\*パラナ州におけるゲートボールのあゆみ

一〇四 パラナ第一支部

パラナ第一支部のゲートボール普及をたどつて、クリチーバ、バラナグア

一〇五 パラナ第二支部

第二支部歴代役員会、第二支部ゲートボール大会成績、バンテランテス、マウア、セルタネージャ、ゲートボールの追想

一〇六 パラナ第三支部

フロレスタ

一〇七 パラナ第四支部

歴代支部長

一〇八 リオ デ ジャネイロ支部

リオ州ゲートボール一八年のあゆみ、リオ支部二〇〇〇年以降のあゆみ、ニテロイ、サンタクルース、カンボグランデ、リオ日系、バプカイヤ、フンシヤール、リオゲートボールに思う、リオ州ゲートボール各種大会成績

一〇九 南北麻州支部

南北麻州ゲートボール協会のあゆみ、ドイツイルモン

二〇―リオ グランデ ド スール支部……………

サン レオポルド、クラブ生い立ちの記

二一―ブラジル セントラル支部……………

ブラジルセントラル支部のあしあと、バラカツ

二二―バイア支部……………

テイシエイラ デ フレイタス（南バイア）

二三―北伯支部……………

北伯ゲートボールのあゆみ

第四章 ブラジルゲートボール連合評議員会……………

## 第二編 国際組織

第一章 ブラジルゲートボール連合と世界ゲートボール連合……………

第二章 ブラジルゲートボール連合と南米ゲートボール連合……………

## 第三編 大会・講習

第一章 国内における国際大会／親善交流／日本からの指導員による講習会

第二章 国際ゲートボール大会……………

一―ブラジルゲートボール連合／サンパウロ新聞社共催編……………

ニ―ブラジルゲートボール連合／南米ブラジル旅行社共催編	.....
第三章	ゲートボール普及のためのゲートボール大会
一―全伯幼少年／全伯ファミリー大会	.....
二―ブラジルゲートボール連合主管ゲートボール大会	.....
三―ゲートボール普及のためのコート開き大会	.....
①タウバテ温泉クラブ	.....
②ホテル ファゼンダ カステロブランコ	.....
③ミナス ナンバリ ホテル	.....
④アラシャ トロピカル 国際ホテル	.....
⑤リンス アトランチカ 国際ホテル	.....

## 第四編 足跡

第一章	ブラジルゲートボール連合会員表彰者一覧	.....
第二章	ブラジルゲートボール連合歴代役員	.....
第三章	ゲートボールスタジアム建設の経過	.....
第四章	全伯大会制覇二回以上の名門クラブ	.....
第五章	スポーツライター	.....
一―神谷牛太郎氏	―「ゲートボールの日」の制定に尽力	.....
二―日下野良武氏	―ブラジルゲートボール草創期の陸の支援者	.....
三―Claudio Antonio de Oliveira	―ゲートボールスタジアム造成協力	.....

- 四 湯本 延次氏 ーブラジルのゲートボール普及支援……………
- 五 角崎 幸雄氏 ーブラジルのゲートボール普及支援……………
- 六 久保商会 ーブラジルのゲートボール普及支援……………
- 七 大崎 孝行氏 ーゲートボール連合事務局一筋に……………
- 八 ガイジンチーム ーブラジル人のゲートボール愛好者……………
- 九 吉川 己相氏 ー大会の競技進行は任せて……………

## 第六章 寄附と慈善事業……………

## 第七章 指導・審判……………

- 一 指導普及関係を振りかえって……………
- 二 ブラジルゲートボール連合審判部の経過と思いで……………

## 第八章 大会成績……………

- 一 全伯親善ゲートボール大会経過……………
- 二 ブラジルゲートボール連合杯大会成績……………
- 三 ブラジルゲートボール連合各種大会成績……………
  - ① 高齢者親善ゲートボール大会……………
  - ② 全伯選抜ゲートボール選手権大会……………
  - ③ 全伯女子ゲートボール選手権大会……………
  - ④ 全伯男子ゲートボール選手権大会……………
  - ⑤ 全伯親善ゲートボール大会……………

## 第九章 ブラジルゲートボール連合公認審判員一覧（一級、二級）……………

## 編集後記……………

# 第一編 歴史

## 第一章 ゲートボール発祥からのみちのり

### 北の大地で

敗戦に打ちひしがれた日本で、子供達に楽しい遊びを与えたい。

「夫はそう願ひ、英国で盛んなクリケットから考案したそうです」創始者の故鈴木栄治（俳名：和伸）さんの一生はまさにゲートボールにかけた人生だった。現在千葉県松戸市に住む夫人の寿美さん（七一歳）が夫と手を携えて歩んだ道を振り返る。

団地の一室は、故人が残した初期の道具、ルールブックなど思い出の品であふれていた。

秋田県で生まれ、サハリンで育った栄治さんは、旭川で敗戦の日をむかえた。

昭和二二年軍隊時代の上官に誘われ、十勝支庁芽室町でパン屋をはじめた。そこでひらめいたのが「ゲートボール」だった。

簡単な道具で遊べ、それ



夫が初めて作ったスティックを手に当時の振り返る寿美さん

程広い場所も必用としない。そんな理由だったらしい。

食料難の時代とあつて店は繁盛していた。しかし栄治さんは店をわずか一年で譲ってしまい札幌に転居する。自ら作ったルールブックを手に先ず道庁へ。そして発足したばかりの北海道教職員組合へなんども足を運んだ。

当時寿美さんは岩見沢市立高女の図画教師を退職し北教組に勤めていた。二人が結ばれたのもゲートボールが縁だった。

「男のロマンとでも言うのかしら。」ゲートボールを普及させるのを手伝ってくれ” という一言にまいりました」と話された。寿美さんの生家は江戸時代に「場所請負人」として特定の地域での交易をまかされ、財を成した函館の旧杉浦財閥。

二人は周囲の猛反対を押し切って結婚したもののそれからが大変でした。

狸小路近くではじめたスポーツ用具店の切り盛りは一切妻任せ。栄治さんは、リュックに一チーム分十組、約二〇キロもの用具を担ぎひたすら全国へゲームの普及行脚を続けた。

二八年には「北海道にいては不便だ」と、この店も売却し一家で東京に出た。だが東京で援助してくれていた会社は間もなく倒産してしまう。「店を売った金も底をつき、私の子供達に絵を教えたり、実家から持ってきた和服などを売ったりしました」と寿美さんの苦労話は尽きない。

皮肉なことに子供達の為にと考案したスポーツが人気を呼び始めたのは、お年寄りパワーのおかげだった。高齢化時代を迎えた一九六五年代の終わり頃、ゲートボールは九州で爆発的な流行を見せ、瞬く間に全国へと愛好者が広がっていった。

一九七五年代に入って競技が盛んになるにつれルールは混乱し、競技組織も乱立した。

この渦中の一九八三年、六五歳の栄治さんは階段から転落、不慮の事故で帰らぬ人となった。

栄治さんが最後に残したものは自ら奔走し発足させたルール統一促進協議会だった。

「夢がかない最後まで幸せそうな表情でした」と。

栄治さんの死後、ゲートボールはルールも統一され、黄金期を迎える。その輪は今やブラジル、中国など海外にまで広がった。今年六月芽室町で八回目の「発祥の地杯ゲートボール大会」が開かれた。会場には参加者とプレーを楽しむ寿美さんの姿もあった。

その寿美さんは「私はゲートボールと結婚したようなもの。財産も年金も何も残らなかった」と話す。「でも　”あんたの父さんはいいものを残してくれたねえ”　と感謝されるたびに良かったなあと人生を振り返るんですよ」と話される。

(読売新聞一九九四年九月一九日号より)

## ゲートボール人生

戦後昭和二二年、僕はまだ北大予科生だったが、当時時計台にあった学校生活共同組合によくアルバイトに行った。学協は北教組の外郭団体で組合長が親父であり、北教組委員長は横路知事のお父さんだった。この学教に「小中学生向け運動用具として販売してほしい」と用具一式をかついで顔を出したのが、創始者鈴木栄治氏（後に和伸と改名）で、これが僕との出逢いになった。十歳年上だったが情熱的な眼を輝かせて野心に満ちた青年であった。夕方になるとアルバイト仲間の田中泰君（函館高水生、後に函館市局長、栄治氏夫人の弟）と共に居酒屋へ連れていかれ、よく酒の相手をさせられた。



鈴木和伸氏

「おい、俺が十勝で考案し

たこのゲートボールは、今に日本、いや世界のものになるぞ」「そんな話どだい無理だと思うよ」「馬鹿、お前達は駄目だ。夢がない」

無名の酔っ払いの言うことは、誇大妄想にしか聞こえなかったし、まさかこのゲートボールが今日の隆盛を見ることなど、全く夢にも思わなかった。

道教育部に百度詣りの末、ゲートボール（以下GB）普及研究会主幹として講習会講師に招かれ、公開指導を行（一九四八年）、二年後実用新案登録。こうしてG

Bは公認されて世に出てきた。

一九五三年、全国普及のため日本GB普及協会を設立、札幌のスポーツ用具店をたたんで家族と共に上京し、苦難に耐えて一生をゲートボールに賭けた鈴木栄治氏の人生ドラマの幕開けは始つたのであつた。

しかし「この道を歩く」と決めたこの道は決して平坦なものではなかつた。自分で競技用具製作所を設立する一方、普及販売を後援してくれる会社も出来たが、この会社もやがて倒産、苦勞の割りに用具も売れず生活に追われて転職も数度、子供達を託児所に預けて夫人までアルバイトに出る始末。「私はゲートボールと結婚した」と言う寿美夫人（松戸市在住）の半生は涙なくして聞き得ない。だが彼の執念で種まきしたGBは、九州を始め全国各地で着実に芽を伸ばしていった。高齢者社会の進捗とともに本来伸びるべき素地があつたのだろう。一九七七年、彼は日本GB協会相談役に迎えられた。

しかし生みの親から離れて勝手に育つたため、中央では利権争い、選挙地盤強化などの目的で協会、連盟などが乱立、競技ルールも混乱しており利潤追求のスポーツ用具メーカーが各団体にスポンサーとして張りつきステイックもブラックシャフトの一本三〇万円もして売り出され、GBツアーまで組まれている始末。

彼はこの現状をみて創始者として原点に戻り、庶民のためのスポーツとしての「健全化」「全国統一」を悲願として活動を開始した。

一九八三年二月どの団体にもつながらない日本GB促進協議会会長として改革の第一歩を踏み出した矢先の四月、市川市で不運にも事故で波乱の生涯を終えた。その意志は受け継がれ、一九八四年暮、財団法人日本GB連合が認可されて全国統一がなり、翌年世界ゲートボール連合（笹川良一会長）の設立を見た。

そして一九八六年八月には札幌で第一回世界ゲートボール大会が開催され、彼の北海道で育まれたロマンは、四〇年の歳月を経て立派に実ったといえる。

僕が最後に逢ったのは一九八二年五月新緑のアカシアが陽光に映え、ライラックが咲いていた思いでの時計台だった。白ひげを長く伸ばしてまぶしそうに時計台を見上げている横顔に、大志を抱き風雪に耐えて、それを成し遂げた偉大な男の満ち足りた表情を見た。

つつましやかに寄り添う寿美夫人も苦労しながら夫君と共に歩いた人生を有意義で誇り高く感じているに違いないと僕は思った。

「ゲートボール創始者鈴木和伸」この名前を、道民の一人として忘れてほしくないと念う。

JTS会長 加清 準（七光星より）

ゲートボール生みの母、鈴木寿美さんとブラジル

一九四七年戦後の荒れ果てた北海道芽室町で鈴木栄治氏

により産声をあげたゲートボールは五〇数年を経た今日、海外二〇数ヶ国に普及され年齢を超えて老若男女が健康と親睦融和を育んでいる。ゲートボール競技を子供の情操教育のための一つとして、考案を果たした鈴木栄治氏は子供達の中に普及させようと、その普及を北海道教職員組合に依頼したが、そこで親切に案内世話をしてくれた女性の事務員が、やがて栄治氏と運命を共にする田中寿美さんであった。

田中寿美さんは女子美術大学を卒業後、札幌時計台の教職員組合に勤務していた。

その事務所で普及の依頼を受けゲートボール普及の手助けをしていた寿美さんは数年後栄治氏と桔ばれ鈴木寿美となり、和伸と改名した鈴木和伸氏と共にゲートボール普及に生涯をかけ「ゲートボールの母」と親しまれた。

一九九一年五月ブラジルゲートボール連合は四三名の親善使節団（森豊団長）を芽室町に派遣したが僕も副団長として参加した。

この芽室町での歓迎パーティーで鈴木寿美創始者末亡人に初めてお会いし夕食を共にして、いろいろとゲートボール談義に花をさかせた。

僕とはそれ以来、年末年始の挨拶はもとより時候の交信は絶えなかった。

一九九二年七月二五日「ブラジルゲートボール連合創立十周年記念国際大会」に祝福の為、ゲートボール発祥の地の鈴木美智男芽室町長と同伴来伯され、ブラジルの

ゲートボールの発展を眞のあたりにみて感激された。

二七日にはブラジルでゲートボールがはじまった地、スザノ福博村を訪問、ブラジルにゲートボールを導入した黒木松巳氏末亡人とその記念碑を除幕した。

一九八七年にはゲートボールを主題にした俳句集の発刊を予定され「ブラジルのゲートボール仲間にも知らせてブラジルのゲートボールを読んだ俳句を募集してほしい」と便りを戴きサンパウロ 新

聞を通じて募集一五〇句余を送ったが一九九九年九月のた

よりでは「近いうちに出

来上がるの でもう少し

待つてくだ さい」と時候見

舞いの 手紙で知らせてくれ

た が、その後、体調を崩し遅れているとの事だった。

寿美さんは千葉県松戸市にご主人（和伸氏）の亡き後住んでおられたが、ご子息の住む静岡県御殿場市に移られた。その後ご子息（自衛隊大隊長）の勤務の都合で北海道札幌市に移られていた。

何時も日本のゲートボール事情を知らせていただいていたが、連合創立二〇周年記念国際大会には必ず参加したいと常常の手紙で書いておられたので、ブラジルのゲートボール仲間知らせて来伯を楽しみにしていたが、二〇〇二年一月十日の年賀状では「体調がよくないので自分出席は無埋だが、参加できる方に声をかけています」



1991年芽室町の歓迎パーティで寿美さんと

と温かい温情にあふれたお手紙を戴いた。これが寿美さんとは最後となった。

しばらくして、芽室町チー

ムの参加の報を戴き寿美さんが勧めてくれたんだなあと感じ謝していた。その後病状が悪化し、五月二十九日「ゲート

ボールの母」寿美さんは帰えらぬ人となった。

七月一三日、ブラジルゲートボール連合は創立二〇周年記念国際大会を盛大に開催した。ゲートボール発祥の地より三寺邦宏芽室町助役を団長に八名の慶祝選手団が参加され、ブラジルGB連合の二〇周年を慶祝していたのだが、これに加わるはずだった 寿美さんがいないので一人寂しく、寿美さんの冥福を祈っていた。

ブラジルGB連合会長 本藤利



1992年7月、連合創立10周年記念国際大会に出席された鈴木寿美さんを紹介。花束贈呈

## 第二章 ブラジルゲートボール連合

### 二〇年の歩み

(文庫編集部注・以下 年表の一部のみ収録しました)

ブラジルゲートボール連合二〇年のあゆみ

(一九七八年)

黒木松巳さんは、渡伯二〇周年記念訪日墓参を兼ね旧友を訪ねた。

その時、農業共同組合倉庫広場でゲートボールの試合をしているのを見て関心を持ちゲートボールの規則、技術等の説明を聞いた。

在郷中練習に参加する中、これをブラジルの老人クラブ活動のスポーツに導入したら喜ばれるのではないかと、GB用具を持ち帰る予定であったが、荷物がかさばり重量超過したので、ブラジルで作る事にして、宮崎県GB協会発行の規則書だけを持ち帰った。

(一九七九年)

一月

老人クラブ福栄会定期総会で、GB導入を提案し承認

された。

直ちに用具の製作に着手したがボールの製作者が見当たらず、ボールだけでも日本より持ち帰ればよかったと後悔した。

五月

遠くアパレシーダ市でコケシ人形製作所を経営する知人の鎌田氏を訪ね試作したが、うまくいかなかった。

六月

鎌田氏のお話でサンパウロのグアルーリョス市に木工専門工場があると聞き、六月一九日、二〇日と二日間探しやつと見つけ試作をお願いした。六月二六日までに都合四回足を運びスチッカー一〇本、ボール一〇個が出来上がった。

七月

一七日

諸準備が出来福博青年会館カンポでブラジル最初初のGB団体競技の練習が始まった。

(一九八〇年)

一年を通じて規則書を頼りに福栄会員だけの練習が続けられた。この間全伯老人クラブ連合会の集まりで、機会ある度にGBの宣伝をしたが反応がなかった。

(一九八一年)

三月

イタペチ植民地在住の檀定氏より打診があり有志数名  
福博に来て練習に参加、共鳴し規則書を持ち帰った。

九月

一二日

イタペチ老人クラブ万寿会よりGB親善試合の申し  
入れがありコンビ二台、一五名が来場した。ブラジル最  
初のGB団体試合が開催された。

当日は檀定氏の招待で全伯老人クラブ連合会田中丑  
子会長、宮口義長副会長、宮坂常任理事、老荘の友伊達  
編集長らの観戦が記念すべき日であった。

一〇月

二日

イタペチコートに於いて福栄会、イタケーラ寿会、  
イタペチ万寿会の三団体で親善試合を開催した。これに  
はモジダスクルーゼス福寿会、スザノ寿会が観戦した。

(一九八二年)

二月

漸くGBの評価が高まり、総合団体活動が必要とな  
り、サンパウロ市リベルダーデ広場前の長野県人会会館  
で代表者会議が開催された。

五月

檀定氏訪日のおり、東京に於いて首都圏第四回GB親  
善大会にブラジル代表として招待され、青梅リバーサイ  
ドパーク会場に出席、GB創始者故鈴木和伸氏(日ガイ

協会相談役)、遠藤 太嘉志 (日ゲイ理事長)、故春日一幸日ゲイ会長の方々と懇談、GBの根本理念を会得、更に技術面を習得、三級審判員認定書を授与された。これにより檀定氏がブラジルでの第一号公認審判員となった。帰伯後直ちにセントラル地方、聖市近郊の愛好者と相計り数回の会合を重ね、ゲートボールスポーツ団体の構成案を検討した。

(一九八二年)

七月

二七日

\*ゲートボール協会創立総会

一〇時モジダスクールゼス郡イタペチ日本人会館に有志が参集、創立総会が開催され議長に檀定、書記に林悦雄の両氏が選出された。

一、ゲートボール協会名称を「全伯ゲートボール協会」と命名された。

二、初代会長に檀定氏が選出された。

三、当日の創立会員(二〇名)は次ぎの通り。

石橋初雄、清川章太郎、岡部清三、檀定、土井博、黒木松巳、西家佐登里、福村幸雄、真鍋次郎、林悦雄、桑原誠吉、牧絃太、賀屋四郎、菅沼久人、井上峰夫、原田孝、宮下実、鈴木義雄、上辻竜市、花岡正八、

四、総会決議事項として檀定議長提案による「第二次創立総会」を一九八三年二月二六日午前九時よりサンパ

ウロ州スザノ市において開催する事が可決された。

(一九八三年)

二月

二七日

\*第二次ゲートボール協会設立総会

八四名の出席を得て第二次設立総会が定刻九時に開会された。

当日新しく六四名が出席、八四名の設立会員が登録れた。

四月

スザノ入植五〇周年記念祭記念事業の一つとして全伯ゲートボール親善大会開催案を検討。大浦文



初代会長 権定氏

雄汎スザノ農事体育文化協会会長、

日下野良武サンパウロ新聞社常務取締役、檀定全伯GB協会会長、黒木松巳総務が細部を検討、スザノ総合運動場に八面のコートを作成開催の運びとなった。

六月

全伯ゲートボール協会団体登録の認可を得る。

登録認可番号Ⅱ五二六三一四一三一七八号

全伯ゲートボール協会創立議事録及び定款の翻訳を田中パウロ薫公証翻訳人に依頼、原文は次ぎのとうり。

全伯ゲートボール協会創立議事録

一九八二年七月二七日、モジダスクールゼス市イタペチに於いてゲートボールに興じつつあった石橋初雄、清川章太郎、岡部清三、檀定、土井博、黒木松巳、西家佐登里、福村幸雄、真鍋次郎、林悦雄、桑原誠吉、牧絃太、賀屋四郎、菅沼久人、井上峯夫、原田孝、宮下実、鈴木義雄、上辻竜市、花岡正八の諸氏は同スポーツが当国に導入されて未だ日が浅いにも拘わらず、大サンパウロ圏内の諸市に於いてすでに一五クラブを数えるに至り、益々盛んになりつつあるを鑑み、ここにこれらを纏める全伯的組織を創設する事を決議した。同日午前一〇時、檀定氏の発言により、本会の目的は現在すでに活動中のゲートボールクラブ或いは諸チーム、又は今後誕生するであろう幾多のクラブ、チームを統括し、そのリーダーを指導すると共にゲートボールの技術向上並びにクラブ間の相互関係を密にするにあると説明した。同氏は更にゲートボールは屋外にて行なわれ非常に健康的で老若男女に拘わらず誰にも安易に行なわれ、体力もあまり必要とせず、思考力を主とするスポーツであるところから家庭スポーツと言われており、最近では老人ホーム等にも導入されていると説明した。ゲームは横二〇m、縦二五mの球場で行なわれ、道具としては七一センチmの柄の就いた四、五センチm直径の槌、太さ二センチm高さ三〇センチmのポール、直径七、五センチmのボール。幅二二センチm、高さ三〇センチmのゲート（門）とし、ボールをゲームの最初にこの門を通すところからゲート

ボールと名づけられたものであると説明した。次いで同氏の提案により会設立に伴う事務遂行の為議長一名、書記一名の選出を行なった結果、全員一致で議長に檀定氏、書記に林悦雄氏を決定、本議事録作成に当たった。檀議長は全出席者にはかり、本会議を会設立総会と認め出席者全員承認のもとに本会の名称を「全伯ゲートボール協会」とした。

檀議長は本会設立を広く呼びかけより多くの創立会員を得るため第二次創立総会を一九八三年二月二六日午前九時よりサンパウロ州スザノ市に於いて開催することを提案し、全員これを承認した。第二次創立総会は予定されていた通り出席者署名台帳署名の八四名の出席を記録した。同総会の席上に於いて檀議長は去る七月二七日に開催された第一次総会に於いて説明された本会設立の主旨を要約説明し全出席者の承認を得た。更に本会定款（案）を提出し全員これを細部にわたり検討し承認した。

以下はその定款の全文である。

## 全伯ゲートボール協会定款

### 第一章

会の名称、所在地、裁判地区、目的、存続期間

### 第一条

全伯ゲートボール協会は民事団体であり営利または政治目的をもたずサンパウロ市にその本部及び裁判所管轄をおくものとし、会員数に制限なく国籍、宗教、人種、性

別年齢の差別なしに私人、法人によって構成されるものとする。

## 第二条

会は次ぎの目的を有するものである。

A) ゲートボール愛好者を統括し、その実施を普及発展せしめる。

B) ゲートボールクラブの設立を奨励し、これらの指導者に技術指導を行なう。

C) 正規審判員の養成並びにゲートボール規則の充実をはかる

D) 協会所属の各クラブを地区別に分け地区別試合、全国試合を行いこれを統括主催し国際試合に出場する。

E) 加入会員の親睦をはかり文化慈善活動を行なう。

## 第三条

会の存続期間は無期とする。

## 第四条

事業年度は暦年とし一二月三十一日に収支決算を行なう。

## 第五条

会の本部をサンパウロ州サンパウロ市リベルダーデ区シケイラカンポス街二八番地、CEP〇一五〇九に置き支部は国内いずれの地区に置くことも得る。

## 第二章

## 第六条

会を構成する会員は下記の通りとする。

A) 創立会員は一九八二年七月二三日会設立当日の総会に出席したものと並びに一九八三年二月二六日に会員として加入した者。

B) 評議員会より名誉会員として認められた者。

C) 普通会员は私人並びに法人により構成される。

## 第七条

創立会員並びに名誉会員を除く会員の加入は会員の権利を享有する会員の紹介により 申込書を提出しこれを理事会により承認されなければならない。

## 第八条

会員の権利は下記の通りとする。

A) ゲートボールの競技に参加する。会館へ自由に入出りし会館及び球場の設備を使用する事ができる。

B) 講習会、ゲートボールの諸大会(国際大会を含む)或いはその他、会が主催する主催する催しに参加する事ができる。

C) 諸会議、総会に出席し、投票し或いは投票を受け会の利益をはかる事ができる。

## 第九条

A) 本定款、諸規則並びにゲートボール規則を遵守し会の目的を遂行の為に協力する。

会費を確実に納入する。

B) 会の役員に選出或いは任命された場合、特別な理由ある場合を除き、これを受け一切無報酬にてその任期を

勤める。

## 第一〇条

会員が本定款並びに諸規則及びゲートボール規則に違反した場合または会の名誉毀損 或いは秩序を乱した場合は理事会の決議により次ぎの処罰を受けるものとする。

①告戒処分②活動停止処分③除名、追放処分、

但しそのいずれの場合に於いても自己弁護の権利を有する。

## 第三章

### 資産、収入、支出

## 第一条

会の資産は動産、不動産、スポーツ用具、諸有価証券、会員よりの会費、寄付及びその他の諸収入により構成された剰余金は総て会の利益のために当てられるものとする。

## 第一二条

会の支出は通常運営費、本部の維持費、ゲートボール試合費並びに大会費、諸会合費、慈善団体への寄付及び評議員会の承認を要する特別費用により構成される。

## 第四章

### 理事、運営並びに権限

### 第一三条

会は一三名からなる理事会により運営管理され、その構成は会長、第一副会長、第二副会長、書記幹事、第一書記、会計幹事、第一会計、審判理事、副審判理事、技術理事、副技術理事、総務理事、副総務理事とし、いづれも任期は二年とし再選、再指名は妨げない。

### 第一四条

会長、第一副会長及び第二副会長は評議員会により選出され、他の理事一〇名は会長より任命される。

構成された理事会は選出日より三〇日以内にこれを評議員会に通告するものとする。

任命された理事はそれぞれの役職に就任し健康上あるいは不可抗力の理由以外には辞任は認められない。

### 第一五条

理事会の権限は下記の通りである。

A) 会の資産を管理し会の諸事業を推進指導する。  
B) 本定款に定められない規則、総会並びに評議員会の決議を守らせ内規を起草する。

C) 監査会の意見書を附した収支決算書及び事業報告書を定期総会に提出する。

D) 次期予算案並びに事業計画書を総会に提出しその承認をえる。

E) 従業員を雇用、処罰、解雇する。

F) 相談役、名誉会員、地元、地方、又は特別ゲートボール委員会の代表者を任命する。

## 第一六条

理事会は必要に応じ会長の召集により会合し最低理事七名の出席をもって有効としその決議は多数決によるものとする。

## 第一七条

会長の権限は次ぎの通りとする。

A) 総会を召集し理事会会合の議長を務める。

B) 裁判所の内外を問わず会を代表し第三者との接触にあたる。

C) 会計理事と共に小切手、その他会の財務資金に変動を伴う書類、文書、並びに会の内外的な諸行為に関する書類に署名する。

D) 諸官庁並びに厚生庁等に対し会を代表する。

## 第一八条

第一及び第二副会長は会長を補佐し支障あるときは順次にこれを代行する。

## 第一九条

会長職に空席が出来たときは評議会が理事会の中より新会長を選出する。

## 第二〇条

書記幹事の権限は次ぎの通りである。

A) 会文書の受信、発信記録等に関する全ての業務を進行する。

B) 理事会会合の議事録を作成副書し会の年間事業報告書を作成する。

## 第二一条

総会計の権限は次ぎの通りである。

- A) 会の収入を徴収し承認された経費の支払いを行い会に属する全ての金銭及び有価証券等を保管する。
- B) サンパウロ地方現行最低給料を超過する会計残高を理事会の指定の銀行へ預金する。
- C) 会長と共に小切手及び会の財務資金に変動を伴う書類に署名する。
- D) 月月の試算表及び年次決算書を理事会へ提出する。
- E) 更新された会員の調査書を保管し次年度の収支予算を作成する。

## 第二二条

審判理事の権限は次ぎの通りである。

- A) ゲートボールの規則を作成更新し会員にこれを流布し定期的に講習会を開催する。
- B) 審判員を養成してこれを認証する。
- C) 技術部と提携しゲートボールの規則を改善しその実施を完全ならしめる。

## 第二三条

技術理事の権限は次ぎの通りである。

- A) ゲートボールの試合及び練習日程表を作成し会員にこれを告知する。
- B) 地元及び地方日程表を作成する。
- C) 審判部と提携しゲートボールの技術を改善する。

D) ゲートボールに使用する諸道具の寸法及び重台を点検しこれを認証する。

## 第二四条

総務理事の権限は下記の通りである。

A) 管理部門を充実し会の本部及びその他の施設を常に使用可能な状態に保つ。

B) 家具什器、スポーツ用具等会の資産を自己の責任のもとに保管する。

## 第二五条

第一書記、第一会計、副審判理事、副技術理事及び副総務理事長はそれぞれの担当理事を補佐し支障あるときはこれを代行する。

## 第二六条

理事会の構成は正常な業務遂行上に起きた諸問題に対して個人的な責任を負わないが法律を犯した定款に抵触して起こした不法行為に対しては責任をとるものとする。

## 第五章

### 相談役、その権限

## 第二七条

相談役は理事会の判断により任命された無制限の会員により構成され理事会の要請により会の諸問題に関して意見を述べる。

## 第二八条

過去において会長の職にあつた者は総て埋事会の任命とは無関係に相談役となる。

## 第六章

### 評議員会、その構成と権限

#### 第二九条

評議員会は四〇名をもつて構成され隔年毎に総会で選出され、再選を妨げない。

#### 第三〇条

理事もしくは監事に任命または選出された評議員はその任期終了まで評議員を休職中と認められる。

#### 第三一条

評議員会の権限は次ぎの通りとする。

A) 評議員会の会長、第一、第二、副会長及び書記の任期二ケ年として選出し再選を妨げない。

B) 構成員の中より理事会の会長、第一、第二副会長並びに監事を選出し就任せしめる。

C) 理事会より提出された次期予算案および事業計画を決議する。

D) 理事会または評議員会提案の不動産売買またはその他の重要問題を決議する。

#### 第三二条

評議員会はその会長或いは一名以上の評議員の召集により集合し、その決議は過半数以上でなければならず、

多数決によるものとする。

### 第三三条

評議員会に欠員が出来た場合は次ぎの総会にて選出補充する。

### 第三四条

評議員会長の権限は通常或いは臨時評議員会を召集しその議長を務め、第一、第二、副会長は会長を補佐し支障あるときはこれを代行する。

書記は評議員会の記録をとり議事録を作成する。

## 第七章

### 監事会、構成と権限

### 第三五条

監事会は三名の正監事及び同数の補欠監事をもって構成され任期は一ケ年とし再選は許されない。

監事は評議員会により、その中から選出され次の権限を有する。

A) 六ヶ月毎にまたは必要に応じて経理並びに会計書類を検査する。

B) 総会へ提出する理事会の会計報告書に意見を付す。

### 第三六条

監事会に欠員またはその構成員に支障が出来た場合は

得票順、或いは年齢順に補欠監事を充当する。

## 第八章

総会、役員選出、その権限と召集

### 第三七条

総会は定期及び臨時総会とされ開催一五日以前に文書或いは地元新聞の広告をもって理事会の会長により召集され、会費完納の会員及び、定款に定められた権利を有する会員によって成立され、その決議は最高位である。

A) 定期総会は毎年三月に理事会の指定する場所及び日時に開催され次の審議を行う。

一 監事会の意見書が附された事業報告書並びに収支決算書

二 次期の予算案並びに事業計画 三 隔年毎に

四〇名の評議員を選出する。

四 定款の部分的または全面的改正並びに本定款に記載しない事項。

五 その他召集状記載の重要事項。

六 臨時総会は必要に応じ会長、評議員会長、または第六条A項及びC項に該当する五〇名以上の会員により召集されるものとする。

### 第三八条

総会は第一次召集において定員に満たない場合は三分後に第二次召集を行い出席会員の数を問わず成立し総

会の決議は有効である。

### 第三十九条

投票は出席会員の無記名投票または形式表決によるものとし委任状による投票は認められない。

## 第九章

### 暫定規則

### 第四〇条

本会の解散は会の目的追及不可能に至った時のみ特に解散の為に召集された第六条A及びC項記載の会員の二／三の可決により行われる。

解散された会の資産は総会の決議により総利益を目的としない慈善団体へ寄附される。

### 第四一条

会員は補助的にも会の負債に対しての責任は負わない。

### 第四二条

会は剰余金または利益を計上しても会員に分配はせず全額、会の為に運用し、理事会、監事会、相談役並びに評議員会の構成員はその役職に対する報酬は一切受けない。

### 第四三条

本会創立時に選出された理事会、幹事会、相談役並びに評議員会の任期は一九八五年三月に開催される第二回定期総会迄とし、第一回定期総会は一九八四年三月開催されるものとする。

於、スザノ（S.P.）一九八三年二月二六日

上記定款朗読後細部検討に移り午後四時に至り全員これを承認した。次いで議長は全伯ゲートボール協会が名実共に創設され前記の九章三条からなる定款に基づき運営されることを宣言した後、本総会は四〇名の評議員を選出、その中から第一次理事会、監事会、相談役並びに名誉会員の選出を全出席者同意の上で形式表決により行った結果次ぎの四〇名が選出された。

檀定、西家佐登里、桑原誠吉、井上峯夫、原田孝、渡辺巖、岡田英成、手島友二、新妻芳郎、北村新太郎、土岐安男、中原充男、岡本一二、中山連、岡部清三、林悦雄、限部茂文、宮下実、石橋初雄、鈴木誠一郎、下山郁三、豊田芳郎、三沢三代、森脇吾郎、青木正継、堀籠富衛、大野英雄、真鍋次郎、黒木松巳、賀屋四郎、土井博、活川章太郎、林一男、大江敬之助、有木治六、斎藤綾子、加藤春一、原田寛、下本愛子、川上哲司。

以上選出された四〇名の評議員は第三一条A項に基づき会長に清川章太郎、第一副会長石橋初雄、第二副会長宮下実、書記西家佐登里の諸氏を選出、同条B項に基づき理事会会長、第一副会長、第二副会長に檀定、真鍋次郎、岡部清三の諸氏をそれぞれ選出し第一四条に基づき書記幹事林悦雄、第一書記（迫って任命）、会計幹事黒木松巳、第一会計原田孝、審判理事桑原誠吉、副審判理事

土井博、技術理事渡辺巖、副技術理事有木治六、総務理事中山連、副総務理事岡田英成の諸氏をそれぞれ任命就任せしめ、これを評議員会に通告した。

更に第三一条B項に基づき正監事賀屋四郎、大江敬之助、北村新太郎の諸氏を選出し補欠監事は追って選出することとし、相談役に任命された田中東、宮口義長、元山菊夫と共に就任せしめた。また名誉会員として竹中正、原沢一雄、相場真一、下元八郎の諸氏が全出席者喝采のもとに任命された。

評議員会会長清川章太郎は全役員を選出、任命、就任の後それぞれの役職を引き受けられたことを感謝すると共に今後ともゲートボールを益々盛んにし、本定款の定める会の目的貫通の為に努力する事を約束した。次いで檀議長は総会の議長として議事を進行、出席者に発言を求めたが発言者がなき為総会の終了を宣した。

檀議長は林悦雄に命じ本議事録を作成朗読し全出席者これを承認し檀議長及び林書記署名す。

於、スザノ市アルマンド サールレス デ オリヴェイ  
ラ街四四四番地、 スザノ文化協会 一九八三年二月

二六日 書記 林悦雄 会長 檀定

出席者 檀定、古賀嘉篤、関明、川上増市、牧政治、岡田英成、有木美須枝、若松とも、重松義一、斎藤徳蔵、白石義春、菊池恭三、原田孝、堀籠富衛、豊田芳郎、竹中儀太郎、岡本一二、H. ナガシ、南部好恵、益田照夫、大江敬之助、隈部茂文、下山郁三、渡辺 巖、尾和武三、家

入春男、坂本正照、上村開助、西川庄一、加藤春一、古久保清武郎、年岡次男、原田孝、西家佐登里、鈴木清一郎、士生文吾、真鍋次郎、大野英雄、相原作、下本愛子、川上哲司、林悦雄、田中悟、桑原誠吉、長谷川利一、清水恒男、竹内喜太郎、斎藤綾子、森脇吾郎、石原通、土岐安男、満生等、土井博、藤本勇、塚田一夫、土生貞子、行徳八郎、七二 I L E G I V E L、宮下実、岡部キヨ、上条庫二、矢野保雄、石川清、手島友二、渡井桂蔵、有木治六、新妻芳郎、三沢三代、黒木ふく、横手国房、榎木七庫、荒尾竹虎、葉山フミエ、中原充男、福村幸雄、石橋初雄、広瀬外男、田中隆計、高木タキ、清川章太郎、黒木松巳、羽入英一、 v i s t o : S A T I H I R O K I Y O K A W A 以上、上記翻訳は原文と相違なきことを認証す。

一九八四年一月七日

公証翻訳人 田中パウロ薫 印

本人サイン

(一九八三年)

七月

一七日

第一回全伯GB親善大会がスザノACEAS総合運動場の特設コートで開催された。

参加四〇チーム、日本国東京都GB協会より細川団長以下二チームが慶祝特別参加があり、日本GB協会より

優勝旗、入賞　メダルの寄贈を得、始めての全伯大会を盛り上げた。

優勝Ⅱイタペチチーム

(一九八四年)

一月

二一日

イペランジア開園一周年記念GB大会参加　四八  
チーム三月一〇日　ブラジル老人クラブ連合会の一室を  
借りて全伯GB本部を置く事に決定も

二一日

ブラジル老人クラブ連合会内に事務所開設。

二三目

地区大会代表者会議

二七日　第一回定期総会

於：青森県人会館

議題　一、一九八三年度事業報告及び会計報告

二、一九八四年度事業計画案審議及び予算審議

三、一九八四年度監査役改選

四、その他

四月

一日

石川県ゲートボール親善便節団二〇名が来伯、サン  
パウロ市内は勿論地方の親善ゲートボール大会に参加、  
その都度審判、競技規則を指導、ゲートボール普及に貢

献された。

\*石川県との交流親善試合　―　午後一時よりイタケーラ　コートにて

二日　石川、・コクエーラ親善交流GB大会　コクエーラコート

二〇日　地区決勝大会　於スザノ文協コート　参加二四チーム　\*当日より協力券発行

二三日　檀定会長、中山連総務、黒木松巳会計の連名により日本船舶振興会笹川良一会長にブラジルゲートボール普及発展の為に　二〇〇万円の資金援助を申請す。

六月

一六日

第二回全伯親善GB大会　於：コクエーラ文協コート  
参加七二チーム優勝スザノーB

二〇日

福岡県ゲートボール協会石川基祐会長はブラジルゲートボール普及のための指導講習ならび優勝トロフィー寄贈に対して感謝状を贈る。

二六日

福岡県GBチームとの交流親善試合及び大会後、歓送シユラスコ会開催

八月

一日　審判員認定試験実施　受験者一〇二名：合格八四名　於スザノ文協運動場一日　認定試験合格者に公認審判員認定証授与

九月

一二日 臨時総会開催

於：青森県人会館ルア

シケーラカンポス六二番 議題―全伯ゲートボール協会専用コート及び付属施設建設の件。

ゲートボールが普及されるにつれて全伯のゲートボールの中心機関の全伯ゲートボール専用コートの必要を痛感する事となり、ここに臨時総会を開催「全伯ゲートボール専用コート及びその付属設備建設」について審議された。総会の総意によりその建設にむかって始動した。

二〇日

ゲートボール専用コート建設資金協力を各方面に檀定会長他役員一同名義にて懇願した。

建設資金募金趣意書、及び募金支援懇願書を送付

一、会員有志

二、日本船舶振興会宛

三、専用コート予想図（計画案図）

二五日

地区選抜決勝大会 参加三五チーム 於佐賀コート

十一月

一〇日

バーゼングラnde地方、審判員認定試験 三一名合格  
二六日～三〇日

全伯GB協会主催：カルダスノーバス温泉旅行兼会員親善G B大会 参加者 サンパウロⅡ一五四名 バストスⅡ二一名 ブラジリアⅡ一三名 クイアバⅡ五六名

合計三〇三名

一二月五日 サンパウロ新聞社の日下野良武常務より、毎月ゲートボールニュースに一ページ提供の申し出があり一九八五年二月より発行する事になった。

\*ゲートボールニュースの内容の基本要項は下記の通り。

- 一、毎月一回発行の月報とする。
- 二、発刊日は其の月の第二土曜とする。
- 三、原稿締め切りは毎前月末日とする。
- 四、一ページ単位とし、下段には定期関連広告をおき、全伯大会記事などの特別行事開催の時は増ページも可。

五、記事は協会で揃える。

六、記事作成、割り付けはサンパウロ新聞社担当が行う。

七、「協会便り」「ゲートボールニュース」「協会広報」などタイトルをきめる。

八、協会側の担当窓口は中山連氏とする。

九、第一回の発行には理事長、援協会長、文協会長、老ク連会長、笹川良一先生、遠藤太喜志氏らのメンサージエンを用意する。

\*記事内容

- 一、先月の行事結果及び来月の行事予定
- 二、ゲートボールの技術と練習
- 三、健康豆知識

- 四・ 新入クラブ紹介、クラブ活躍ニュース紹介
- 五・ 人物登場、紹介
- 六・ 日本からのゲートボールニューストピックス
- 七・ 審判員認定試験関係発表
- 八・ ゲートボール規則について
- 九・ 慶弔人事等

一二月

高齢者大会開催を役員会で決議され、一九八五年二月二〇日に第一回大会を開催することに決定。

一三一日～一九日

パラナ州にてゲートボール普及指導講習会開催。

＊講師：全伯ゲートボール協会指導員

檀定（会長）、真鍋次郎（副会長）、土井博（審判長）、岡田英成（指導部長）

事案内：パラナ和順会

佐々木陽明（理事長）、植田憲司（第一副）、田中恵（総務）豊田 覚（地方理事）、広瀬豊明（園長）、

前田晃秀（副園長）＊講習実施会場

一、一二月四日 マリンガ市―於：マリンガ文化体育協会（ACEMA）参加一〇三名

二、五日 ウムアラマ市 ―於：宗森農場 ― 参加三名

三、六日 ロンドリーナ市 ―於：ロンドリーナ文化体育協会 参加二四名

四、七日 ウライ市―於：ウライ文化体育協会 参加一

五名

五・ 八日 アサイ市

―於：L A C A野球場

参加二七名

六、 九日 バンデランテス市―於：バンデランテス文化  
体育協会 参加五五名

(一九八五年)

二月

一六日 (土)

ゲートボールニュース第一号発行 二〇日 第一  
回高齢者G B大会開催 参加 三四団体 六五チ―  
ム

優勝 スザノ

三月

一六日

ゲートボールニュース発行 (第二号)  
一八日

第二回定期総会 (一九八五年度) 於 サガ県人会

館

議題

- 一、 一九八四年度事業経過報告
- 二、 一九八四年度会計報告
- 三、 一九八五年度事業計画及び会計予算審議
- 四、 一九八五年―一九八六年度役員改選
- 五、 一九八五年度監査役選挙
- 六、 その他の協議、審議事項

\*一九八五年～一九八六年度役員は次ぎのように選出された。

理事会

顧問 尾身倍一、野村文吾、水本 毅、野田マリ  
才、相場真一、山下洋平、田中丑子、下本八郎、原沢和夫、水本光任

名誉会長 竹中 正

理事長 檀 定

副理事長―真鍋次郎 岡田英成 総務理事―中山 連

森 豊、会計理事―黒木松巳、戸田重夫、 審判理事―土井 博、川上武男 協議理事―林 悦男、細川照男

書記理事 土屋得司、小林新郎

―評議委員会

会長 清川章太郎

―副会長 石川初雄、森園松一

―書記 藤本 勇、菅野鉄夫

―評議員 四〇名

―正監事 関 定信、伊藤好信、有木治六―補欠監事  
荒尾竹虎、川岸忠良、斎藤 弘

四月

五日～二〇日

地区別選抜チーム選出ゲートボール大会開催

二〇日 ゲートボールニュース発行(第三号)

二七日 メガフォン一器購入

五月

一五日 選抜チーム決勝大会開催―四七万クルゼイロス

優勝 スザノ Bチーム  
二葉アキ子歌手寄贈優勝杯  
獲得 準優勝 ビラ モラエス チーム：学習研究社寄贈準優勝杯獲得

一八日 ゲートボールニュース発行（第四号）

二七日 カルダスノーバス温泉親善旅行兼第二回親善ゲートボール大会開催 参加 三二チーム ― 優勝  
パウリスタ チーム、二位 仲良しチーム

六月

三日 審判員講習会及び三級認定試験実施於 サガコー

一一日～一三日 ロンドリーナ、マリंगा方面GB指導及び審判員認定試験実施

一五日 ゲートボールニュース発行（第五号）

七月

六～七日 第三回全伯親善ゲートボール大会

於 サガコート

参加一六チーム 優勝 クンビツカ チーム

\*拡声器購入 二二三万クルゼイロス

\*石川県ゲートボール協会、小津正昭理事長を団長に八名の親善使節団が来伯、第三回全伯親善GB大会に特別参加、新ルールの講習会を開き指導した。

二〇日 GBニュース発行（第六号）

八月

一二日 第一回全伯婦人ゲートボール大会開催

於 サガコート

主催 全伯ゲートボール協会、サンパウロ新聞社共催  
参加：三八団体 五六チーム

優勝 ボンレチーロ チーム

一七日 GBニュース発行 (第七回)

二一日～二四日 クヤバ親善旅行

九月

六日 第一回ブラジルゲートボール親善使節団出発

主催：全伯GB協会、サンパウロ新聞社共

催

参加：檀 定団長一行二一名

\*一一日 日伯親善首都圏ゲートボール大会参加

主催：東京都ゲートボール連合

参加：東京、千葉、神奈川、静岡、山梨、長

野の各県、

ブラジルより計六五チーム 三

笠宮殿下がブラジル選手団の訪日を歓迎して大会に来賓として来会、ブラジル選手団員と親しく歓談激励された。三笠宮殿下はブラジル移民五〇周年記念式典に出席された為、ブラジル選手団歓迎の意味を持って公務多忙の中、出席された。

\*一三日～一五日(訪日団員) 石川県訪問親善試合に参加。  
加。

有志一七名。

\*一六日（一九日（訪日団員）岡山県訪問親善試合に参加。有志二〇名。

二一日 ゲートボールニュース発行（第八号）

\*二六日 「世界ゲートボール連合」設立総会に出席加入した。

|| 於 品川パシフィックホテル

檀定ブラジルGB協会会長がブラジルを代表して出席。

\*加盟国：日本、ブラジル、アメリカ、中国、

台湾、韓国の六ヶ国 会長には笹川良一日本ゲ-

トボール連合会長が就任 各加盟国代表が理事

に選出されブラジルは第二理事 国に指定された。

\*二七日：「八五ゲートボール・ワールドカップ東京」

参加

主催：東京都ゲートボール連合（山田忠義理事長）

参加：日本、アメリカ、中国、台湾、韓国、イ

ンドネシア、ブラジルより五九チーム。

来賓：笹川良一世界ゲートボール連合会長、鈴

木俊一東京都知事、 大会会長 || 安井謙東京都ゲ-

トボール連合会長、 実行委員長 || 山田忠義東京都

ゲートボール達合理事長 大会優勝 || 日本 飯

柳チーム（新潟）、準優勝 || 日本 積志チーム（静岡）

\*ブラジルは唯一外国チームで一勝した事を受けて敢闘賞に

(中略)

(一九九〇年)

一月

六日 GBニュース発行 (第五二号)

一八日 定斯総会

於 サガ県人会館

一、主な議事事項

①年度事業報告及び本年度事業計画

②年度会計報告及び本年度会計予算

二水本エドアルドサンパウロ新聞社社長をブラジル  
ゲート ボール名誉顧問に推薦、満場一致で承認された。

一、連合諸料金をBTN換算で徴収。

二月

三日 GBニュース発行 (五二号)

二四日 第二回幼少年GB大会及び第二回全伯ファミリーGB 大会開催 於：サガコートにて同時開催。

資格：幼少年大会は一五歳までの幼少年、ファミリー大会は父、子、孫の三世代 母さん、父さんに付き添われた幼少年の豆選手のはちきれそうな活躍ぶりは新春の大会にふさわしい楽しい大会となった。

三月

三日 GBニュース発行 (第五三号)

一四日 全伯支部長会議開催。一〇支部長が出席。連合杯大会開催要領を検討

二二日 第六回全伯高齢者GB大会開催 於 サガ

コート 参加者は七〇歳以上の高齢者ゲートボラー 午後大雨となり決勝戦は中止され七月二八日、第二回全伯 G B 大会前日に延期された。

三一日 G B ニュース発行 (第五四号)

四月

七日 四月一日レジストログゲートボラー一五名が交通事故死されたがその初七日法要に森豊会長、畔柳信利会計部長両氏が参列故人の冥福を祈った。

一七日 定例役員会にて一九九二年の連合別立一〇周年記念 ゲートボール大会に G B 発祥の地、芽室町及びゲートボール創始者鈴木寿美末亡人を特別招待することに決まる。

五月

五日 G B コユース発行 (第五五号)

二六二一七日 第八回全伯親善ゲートボール大会開催於：サガ、ボンレチーロ、パウリスターの三会場を使用。大会の特記すべきことは、若い女性選手と非日系人選手が多く参加したことである。

六月

二日 G B ニュース発行 (第五六号)

一六日 二級審判員認定試験実施

七月

三日 G B ニュース発行 (第五七号)

六日 第四回南米ゲートボール選手権大会に参加のためブラジルゲートボール選手団 (森豊団長) 一行一三

チーム、六〇名は

(41ページ)

九月

一二二／一三日 第一四回全伯女子GB選手権大会、第四回全伯 男子GB選手権大会開催

三〇日 GBニュース発行 (第一五五号)

一〇月 Ⅱ／一二日 アルゼンチン国ゲートボール協会創立一〇周年 記念国際GB親善 大会にブラジル選手団参加。

於：アルゼンチン国ブエノスアイレス市郊外ウルマ園。

\*ブラジルより二九チームが参加、ブラジル国のアダマンチーナチームが優勝。

一八日 一二級審判員認定試験実施

二〇日 ブラジルGB連合臨時総会開催

於：連合コート

於：サンパウロ新聞社大サロン

\*定款一部改正について臨時総会が開催され次ぎの事項が決議された。

①連合本部所在地の名義変更。②全ブラジルを統制するため、地方担当副会長を増やし副会長を一〇人までとした。③次期諸料金、次期年間スケジュールを一二月中に発表する。④役員の推薦により名誉会長を置くことができるが任期はその役員の任期と同じとする。⑤会長、副会長の選挙はシャツパ制とし会員誰でも提出できるが、

所属する支部長の承認を得て、総会一五日前までに本部事務局に提出しなければならない。

三二日 GBニュース発行（第一五六号）

一二月

一四／一五日 第七回世界ゲートボール選手権大会参加  
於：米国ハワイ州ホノルル、アラモアナ公園

\*本藤利連合会長を団長にブラジル選手団一五チームが参加、四チームが決勝トーナメント戦に進出した。

二四日 「第二回コツパ桐原大会」連合主管で開催。

二七日 GBニュース発行（第一五七号）

一二月

二五日 GBニュース発行（第一五八号）

（一九九九年）

一月

一八日 サンパウロススポーツ局へコンセツソン デ  
ウーゾ（半永久使用权）申請。

\*レイジス デ オリベイラサンパウロ副市長（ゲートボール連合名誉顧問）同伴にてサンパウロ市スポーツ局にてファウスト カムニア スポーツ局長に必用書類を提出申請した。

二八日、第一六回定期総会開催

一九九八年度事業報告、会計報告、計画、予算審議。

一九八年度一〇名の優秀審判員表彰

於：佐賀県人会館

一九九九年度事業

―役員改選（会長、副会長選出）

\*提出されていた二つのシャツパについて選挙が行われ次ぎの会長、副会長が選出された。

会長：本藤利。

副会長：本部関係Ⅱ岩崎秀雄、日下野良武、平田ニコラウ、

（49ページ）

二三日 サンファン移住地親善大会に参加。 於：ボリビア国 サンファン移住地 優勝Ⅱブラジル⑤チー  
ムが優勝した。

三一日 GBニュース発行（第一六六号）  
九月

一〇日 ブラジルゲートボール連合表彰

ゲートボール連合はゲートボール競技を通じて福祉や市民生活向上に寄与したと認められ、サンパウロ市より表彰された。

一八／一九日 第一五回全伯女子ゲートボール選手権大会及び 第五回男子ゲートボール選手権大会開催。

於：連合ゲートボールスタジアム \*桜内義雄世界ゲートボール連合会長よりゲートボールスタジアム落成一周年を祝って「球音門過輝」と彫り込んだ檜額の寄贈を受けた。

三〇日 GBニュース発行（第一六七号）

一〇月

一六日 「第七回コツパ桐原大会」 連合主管で開催

一七日 二級審判員認定試験実施 雄：連合コー

ト

一七日 カナダ国トロント市、バンクーバー市、日加親善ゲートボール国際大会に参加。

三〇日 GBニュース発行（第一六八号）

十一月

二一日 全伯審判員講習会、研修会実施。

七日 堀村隆彦在サンパウロ日本国総領事より離任に当たり、離任挨拶を連合会長宛てに戴き本藤会長は文協での歓送会に出席しお別れの挨拶をした。

三〇日 GBニュース発行（第一六九号）

十二月

九日 二〇〇〇年八月開催予定の「東京フェスティバル

イン ブラジル」の打ち合わせの為、準備委員会の浜田千秋事務局長が来伯、GB連合事務局で打ち合せののち、連合スタジアムを視察された。

\*台湾の球友に台湾地震の見舞い金をブラジルGB連合より林芳正サンパウロ台北経済文化弁事処秘書長を通じて見舞い金US\$四、五〇〇を贈った。

二八日 GBニュース発行（第一七〇号）

（二二〇〇〇年）

一月

二〇日 八時〇〇分 定期評議員会開催於：佐賀県人会館小会議室

九時三〇分 第一七回定期総会開催 於：佐賀県人会館  
―一九九九年事業報告、会計報告、―二〇〇〇年度事業報告、予算審議。

―連合スタジアム建設経過報告、予定検討、第一八回全伯リオ大会開催準備報告が菅原和司担当理事よりの報告他（九九年年度優良審判員二〇名の表彰、GBスタジ才建設協力者、桐原渡氏表彰他 \*岩崎優子連合婦人部長はブラジル日本文化協会婦人部長に就任のため連合婦人部長の辞任に伴い、後任に大久保富江氏を選出、就任された。

(50ページ)

二九日 GBニュース発行 (第一七二号)

二月

一七日 全伯支部長会議開催

\*第一八回全伯リオ大会、二〇〇二年連合創立二〇周年記念 事業などを主に協議。

一九日 「第八回コッパ桐原大会」連合主管で開催。

二二／二三日 サンシャインスポーツ社創業七五周年記念「サンシャインカップ」ラスベガス国際親善大会にブラジルより選手団一〇名が参加。

二九日 GBニュース発行 (第一七二号)

三月

一 二日 世界ゲートボール連合派遣指導員による伝達講習会Ⅱ一日目 世界ゲートボール連合より派遣された遠藤容弘常務、望月登 審判理事、内藤章久三氏により南米地域対象ゲートボール審判、競技伝達講習会が連合ゲートボールスタジアムにて開催された \*アルゼンチン、ボリビア、パラグワイ、ペルー、ウルグワイより会長他指導員及びブラジル上級指導員二三〇余名が受講した。

一 二日 第一六回全伯高齢者親善ゲートボール大会開催。於： 連合GBスタジアム \*世界GB達合より遠藤容弘常務、望月登審判理事、内藤章久事務局職員、新垣善市アルゼンチン会長、黒部孝治パラグワイ会長、玉城正一ペルー会長、山城保徳ボリビア会長、飯原農夫ウルグワイ会長、始めブラジル政財界の来賓を迎えて盛大に開催された。

二 三日 世界ゲートボール連合派遣指導員による伝達講習会Ⅱ

二 二日

第二日目の講習会は佐賀県人会館にてルールと指導、運営等について講習会が行われた。

三 一日 GBニュース発行(第一七三号)

四月

一 五／六日 全伯親善ゲートボール大会開催。於：リオ州イタグワイ市 参加一三九チームが激突した。

二二日 中山連連合評議員会会長逝去。

一九日 「第九回コツパ桐原大会」を達合主管で開催

二九日 GBニュース発行（第一七四号）

五月

一八日 午前・指導者会議開催

午後：評議員会議開催

三二日 GBニュース発行（第一七五号）

六月

四日 二〇〇〇全伯審判員講習会開催

於：連合GBスタジアム

三〇日 GBニュース発行（第一七六号）

七月

二二／二三日 全伯選抜ゲートボール選手権大会開催

於：連合GBスタジアム 数日來の雨でコート使用不可能となった為、協議の結果プログラム試合順序により第一ゲート通しで成績を決めた。優勝Ⅱ パウリセイア

\*今年初めて数本のスタジアム落成記念植樹沖繩桜がきれいに咲いた。

〔52ページ〕

一九日 全伯審判員講習会、研修会を開催。 於：連合

コート

三〇日 GBニュース発行（第一八二号）

一二月 三日 第一回慈善うどんゲートボール大会開催。

於：連合 コート 達合婦人部（大久保富江部長）主

催で年末の助け合い運動に協力のため慈善うどんゲート  
ボール大会を開催、その純益五・三一五、〇〇レアルを  
癌病院とサンパウロ日伯援護協会に寄附した。

二八日 GBニュース発行（第一八二号）

（二〇〇一年）

一月

一七日 評議委員会開催 於：連合会議室。 二九名出  
席

一八日 第一八回定期総会開催

一二〇〇〇年度事業報告、会計報告。

計画、予算審議。

一二〇〇〇年度優良新判員二七名表彰。

於：サガ県人会館

一二〇〇一年度事業

一役員改選：提出されていた単一シャツパを参加者全  
員が承認、前期と同一理事会が今期も連合事業運営を行  
う事に決まる。

一六日 サンパウロ市制四四七年記念第一二回親善ゲー  
トボール大会をカピタル支部（国吉次郎会長）と連合共  
催で開催。

於：連合GBスタジオ。

三二日 GBニュース発行（第一八二号）

二月

一六日 鈴木勝也日本国全権大使を全伯ゴイアニア親善

大会に招待。

本藤利会長、松尾末幸副会長は笹井宏次朗サンパウロ新聞社 社会部長同伴、岡村武ブラジルセントラル副支部長の案内でブラジリアの日本国大使館を訪問、鈴木勝也日本国全権大使をゴイアニア市で開催の第一九回全伯親善ゲートボール大会に招待した。

一七日 「第一三回コツパ桐原大会」を連合主管で開催。

二二日 全伯支部長会議開催。

二七日 GBニュース発行（第一八四号）

三月

一日 第一七回全伯高齢者GB親善大会開催。 於

：達合GBスタジアム 二八日 GBニュース発行（第一八五号）

四月一五日 「第一四回コツパ桐原大会」を連合主管で開催

二二／二二日 第一九回全伯親善ゲートボール大会開催。

於：ゴイアス州ゴイアニア市ゴイアス日伯協会特設ゲートボール場。

\*全伯より一五二チームの参加を得、鈴木勝也日本国全権大使、マルコニ ベリロ ゴイアス州知事他の来賓を迎え盛大に開催された。

二八日 GBニュース発行（第一八六号）

五月

一七日 午前：全伯指導者会議開催

午後：評議員

会開催

於：連合会議室

ブラジルゲートボール連合 20 年のあゆみ  
UNIÃO DOS CLUBES DE GATEBALL DO BRASIL  
- A EVOLUÇÃO EM VINTE ANOS -

- 発行 2003 年 12 月  
Dezembro de 2003
- 編集者 (日本語) 本藤 利 (Japonês) Toru Hondo  
松尾末幸 Sueyuki Matsuo  
(ポ語) 小賀誠二 (Português) Seizi Oga
- 発行所 ブラジルゲートボール連合  
União dos Clubes de Gateball do Brasil  
Rua Mituto Mizumoto 255, 6º Andar, Sala 62/3  
Liberdade - São Paulo - Brasil  
CEP 01513-040
- 印刷 トッパン・プレス印刷出版有限公司  
Editora Gráfica Topan-Press Ltda.  
Rua Muniz de Souza, 655 - Cambuci  
CEP 01534-000 - Tel.: (11) 3209-5522 - Fax: (11) 3209-3975